

---

---

## 第4節 作目別の振興方向

### 1 野菜

野菜については、福岡市の都市型農業の中心的な作物として、施設園芸や機械化等の推進による省力化を行い、品質の向上及び安定供給を図るとともに、安全・安心な農産物の供給や市内産野菜のPRを行い地産地消に努めます。

#### (1) 施設化・機械化の推進

施設園芸や機械化等の推進により省力化・省エネルギー化を行い、作物の品質の向上と安定供給を図ります。

#### (2) 野菜の安定供給及び消費拡大

生産安定事業を引き続き実施し、安定供給と経営の安定を図るとともに、イベントや市政だより、ホームページなどの広報手段を活用し、市内産野菜のPRと消費拡大に努めます。

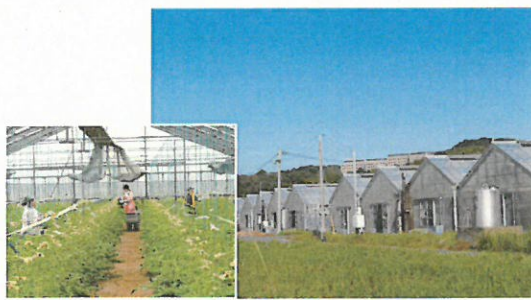
#### (3) 安全・安心な野菜の供給

農薬使用基準の遵守の徹底による、GAP（農業生産工程管理）への取組み等を推進し、市内産野菜の信頼性の確保に努めます。

また、国内最大級のコールドチェーンを備えた青果市場「ベジフルスタジアム」を通じて、海外への輸出を促進していきます。



しゅんぎくの施設栽培



トマト栽培団地（西区元岡）



消費拡大の取組み  
（産地見学と料理教室）

## 2 花き

花きについては、野菜とともに福岡市の都市型農業の中心的な作物であり、消費者ニーズを捉えた高品質・高価値な生産を推進するとともに、産地のPRにより花きの消費拡大に努めます。

### (1) 高品質・高付加価値な花きの生産

施設整備を推進し、省力化等を図るとともに、価格安定対策に努め、効率的で安定した生産の確立に努めます。

花きの流通に関する情報収集に努め、市場評価の高い花きの生産を推進します。

特色ある優良品種を導入し、ブランド化を推進していくことにより、産地の競争力の向上を図ります。



トルコギキョウ（西区北崎）



バラ（西区北崎）

### (2) 産地 PR・消費拡大

産地のPRやイベントの開催、実際に花に触れることで花きの魅力を伝える花育推進事業など、積極的に市民への情報発信を行うことで、花きの消費拡大に努めます。

また、海外への販路拡大に向けて、海外プロモーション事業に取り組んでいきます。



花育事業（小学校での花壇づくり）

花育事業（中学校でのアレンジ体験）



---

---

### 3 水 稻

水稻については、福岡市の全作付面積の62%を占める中心的な作物であり、市民の主食でもあることから、消費者ニーズに応えた安全・安心で高品質な米作りを推進します。



水田風景

#### (1) 消費者ニーズに応える米作り

減農薬・減化学肥料栽培、栽培履歴記帳の徹底、新品種の導入などに取組み、安全・安心でおいしい米作りに努めます。

#### (2) 大消費地を活かした販売

各種イベントによるPRや生協など大口顧客との連携を推進するとともに、学校給食への供給や消費者との交流会などによる市内産米の理解促進を図り、地産地消の拡大に努めます。

#### (3) 環境に配慮した米作り

減農薬・減化学肥料栽培、畜産堆肥・緑肥の活用等により環境負荷を軽減し、生態系に配慮した米作りを推進します。

#### (4) 作業の効率化と生産コストの削減

高齢化に伴う農業者の減少に対応しながら、稲作が継続的に実施できるよう、共同施設（ライスセンター等）の活用や農業機械の共同利用を促進するとともに、地域の担い手等による作業受託を推進し、作業の効率化と生産コストの削減を図ります。

#### (5) 主食用米の生産調整

米価の安定には需要に応じた生産が必要であるため、主食用米の需要減に対しては、生産者の経営安定に資する作物への転作を図ります。

## 4 果 樹

果樹については、省力・低コスト技術の導入を引き続き推進するとともに、農薬の効率的使用や生物防除策を取り入れることにより、安全・安心への取組みを推進します。

また、直売所への出荷や加工品開発などによる販路の拡大を図るとともに、観光農園の推進など経営の多角化を推進します。

### (1) かんきつ類・びわ

志賀島、能古島、北崎など準無霜地帯に産地が分布する「かんきつ類・びわ」については、従事者の高齢化に対応するため、担い手への樹園地の集積、剪定による低木化、除草省力化のための園地草生栽培や省力栽培品目の導入を推進するとともに、加工品開発などによる販路の拡大を推進します。

### (2) ぶどう

金武地域、今宿地域、席田地域等に産地が分布する「ぶどう」については、単位収量の低下した樹園地の改植を推進します。また、消費者ニーズに対応した品種の導入に努めるとともに販路の拡大を図ります。

### (3) 経営の多角化

地域の魅力を高める特産物を育て、直売所での販売、もぎとり園やオーナー制度など観光農園としての経営を推進するとともに、地域の観光・飲食業など他産業との連携強化を図ります。



甘夏



びわ



ぶどう

---

---

## 5 畜産

畜産については、都市部と調和のとれた畜産業の振興を図るため、周辺環境への影響低減を推進するとともに、家畜排せつ物の有効利用による資源循環型畜産や、安全で良質な畜産物の安定的な生産を推進します。あわせて畜産業に対する市民の理解促進、消費拡大に努めます。

### (1) 環境に配慮した畜産の推進

生産施設の臭気対策、美化の促進により、周辺環境に配慮した畜産の推進に努めます。

### (2) 耕畜連携による資源循環型畜産の推進

良質な堆肥の生産を進め、稲わらと堆肥の交換等による耕種農家の堆肥利用を促進し、資源循環型畜産の推進に努めます。

### (3) 安全で良質な畜産物の安定的な生産

国産自給粗飼料の品質向上、畜舎における衛生対策の徹底等により、安全で良質な畜産物の生産を推進します。また、家畜伝染病に対する対策として、農家に対し日常の予防対策の啓発を行い、あわせて万一の発生に備えた初動防疫体制づくりに努めることで安定的な畜産物生産を推進します。

### (4) 畜産経営の安定

国産自給粗飼料の生産拡大、耕畜連携による飼料用米の稲わら利用やWCS用稲の作付を推進し、生産コストの低減を図ります。



WCS用稲の収穫

### (5) 畜産業に対する市民の理解促進・消費拡大の推進

各種イベントによるPR、油山牧場における家畜とのふれあい体験等により、市民の理解促進と消費拡大を推進します。



搾乳体験（油山牧場）